

**答** 運行が確定している27年度までは、現在と同額の負担金ならば継続していきたい。廃線になれば沿線地区の衰退が予想され、市としても大きな損失と考える。市民の理解が得られる限り補助をしていきたい。

県への補助金要望も続けていく考えである。

**問** 関する重要な不確実性が認められる」と注記があるが、市の認識を伺う。

**答** 蒲郡海洋開発株式会社から25年度は7月までの来場者が21万人増え、営業利益も当初の想定を上回り、このまま推移すれば25年度は利益が出る見込みと聞いている。市も継続して事業の運営がなされると考えている。ただ、債務超過等の問題はあり、全体的には、厳しい状況が続いていると認識している。

**問** 24年度分の収納率について伺う。

**答** 決算見込みで市税は約98%、国民健康保険税は約91%である。

**問** 収納率向上には現年度分を水際で収納することが効果的と考える。沖縄県南城市では、行政の縦割りを超えて納税等を促す市民サービスコールセンター事業を実施している。本市でも導入の考えはないか。

**問** 景観条例の制定について

**答** 景観の維持保全や眺望を確保するため、条例制定等に取り組む考えは。景観に関する啓発をする中で、地区の住民から景観に配慮したまちづくりをしたいという機運があり、同意が得られれば、条例制定等も考えたい。



公共施設のひとつ体育センター

**問** 蒲郡海洋開発株式会社との24年度の経営状況報告書には「継続企業の前提

**蒲郡海洋開発株式会社と市の対応は**

**柴田安彦（無会派）**

**竹内滋泰（自由クラブ）**

**市税等の収納対策は**



総務委員会で視察した市民サービスコールセンター

**公共施設の更新は**

**答** 財務4表の広報がまごおりへの掲載も含め、公表時期を早めることはできないか。

**答** 委託業者と財務課で共同で作成しているため、公表時期の前倒しが可能か

**問** 公用車に有料広告を導入して自主財源に

**答** 公用車に有料広告を導入している自治体も多いが、蒲郡市でも導入する考えはないか。

**答** 行政職員が極端に減少している。比較的小ない事務量で大きな成果を上げられるものに限り進めるべきとの考えに基づき、検討をしていきたい。

**問** 蒲郡海洋開発株式会社を民営化していくべきと考えるが、市の考えは。

運営を注視し、将来的に民営化も見据えている。

**問** 公用車に有料広告を導入して自主財源に

**答** 公用車に有料広告を導入して自主財源に

**問** 市は追加支援の依頼を受けているのか。

**答** 追加支援を含む依頼を受けしており、主要株主との間で長期債務や追加支援について協議している。

**答** 蒲郡海洋開発株式会社を民営化していくべきと考えるが、市の考えは。

**問** 経済的にも合理的であれば取り組むべきと考

えている。南城市的事業も研究をしていきたい。

**問** 地方公会計の取り組みについて

**松本昌成（公明党）**

**答** 財務4表の広報がまごおりへの掲載も含め、公表時期を早めることはできないか。

**答** 同で作成しているため、業者と相談をしていきたい。

財務課での作業も整理し、公表時期の前倒しが可能か

**問** 見直しの再検討をしているのだが、今後の取り組みはどのようか。

**答** 公共施設見直し検討委員会で見直しの進め方を決めた後に、民間の専門的な力を早い時期に導入し、施設の実態把握や施設白書の作成等を進めていきたい。

**問** 教育施設の更新は、情報を共有し、全体と整合を図りながら、教育施設整備事業基金活用検討会で検討を始めている。検討結果については25年度中に市長に報告していきたい。